

21 Countries, 35 People. A First Look at the Women's Lifestyles Across the Globe

If there are differences in the environment you were raised in, then it's no wonder that there might be differences in your thinking and lifestyle habits.

Here, we profile 35 real women.

They're distinctive, independent individuals from India, Brazil, Singapore, the UK, and from every corner of the world, for a grand total of 21 countries. What is it that interests these women, and what kind of lifestyle does each one lead?

From their outlooks on everything from work, to family, there are some things that will surprise you, and some that you'll relate to. And perhaps, both.

Part 1

How do you spend your day? A look inside the 24 hour schedules of real career women.

Part 2

In looking at the thought processes behind various lifestyle choices, each country's distinct cultures are revealed.

Part 3

From what they talk about, to their after-5 o'clock life – we asked all these questions and more, to 15 in-demand ladies from abroad!

21カ国、35人。 世界の女性の ライフスタイル最新事情。

育ってきた環境が違えば、考え方も生活習慣も違って当然だ。
ここに登場するのは、35人の女性たち。
インド、ブラジル、シンガポール、イギリスなど、
世界各国津々浦々、合計21カ国で活躍するインディビジュアルな人々だ。
彼女たちは一体、何に興味をもち、どんなライフスタイルを送っているのだろう？
仕事や家族との向き合い方を通して、驚くことと共感すること、
きっと両方あるはず。

Editors: Saori Masuda, Maki Hashida, Yui Sugiyama,
Airi Nakano, Mayu Kato

Part 1

一日をどう過ごしてる？
キャリアウーマンの24時間。

Part 2

生活スタイルに対する考えから
見える、お国事情。

Part 3

会話のトピックスからアフター5まで。
国内外15カ国の“注目の人”に質問！

Our Common World

15カ国の女性に聞いた、“仕事”“社会情勢”“生活サイクル”etc。

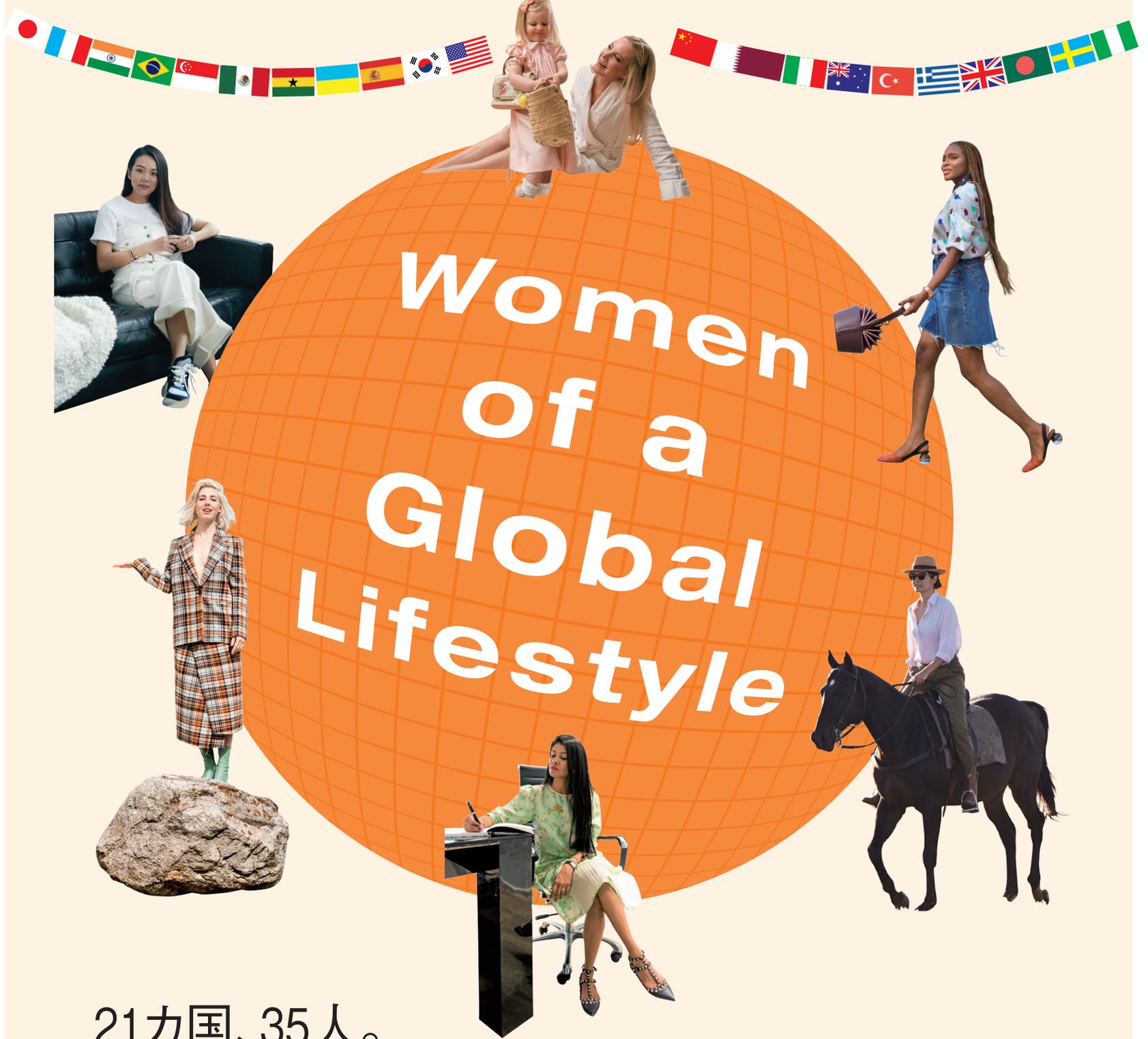
アンケート海外編

Coordination: Sayaka Okamoto (p.094, 095)

art.3

Our Common World

The questions on “Work”, “Society”, “Lifestyle”, etc. that we asked women from 15 countries.
[Take the Survey - Overseas version]



21カ国、35人。 世界の女性の ライフスタイル最新事情。

育ってきた環境が違えば、考え方も生活習慣も違って当然だ。
ここに登場するのは、35人の女性たち。
インド、ブラジル、シンガポール、イギリスなど、
世界各国津々浦々、合計21カ国で活躍するインディビジュアルな人々だ。
彼女たちは一体、何に興味をもち、どんなライフスタイルを送っているのだろう？
仕事や家族との向き合い方を通して、驚くことと共感すること、
きっと両方あるはず。

Editors: Saori Masuda, Maki Hashida, Yui Sugiyama,
Airi Nakano, Mayu Kato

Part 1

一日をどう過ごしてる？
キャリアウーマンの24時間。

Part 2

生活スタイルに対する考えから
見える、お国事情。

Part 3

会話のトピックスからアフター5まで。
国内外15カ国の“注目の人”に質問！

Our Common World

15カ国の女性に聞いた、“仕事”“社会情勢”“生活サイクル”etc.。

アンケート海外編

Coordination: Sayaka Okamoto (p.094, 095)

友人と集まったとき、中心となる話題は？

サン・セバスティアンは小さな街なので皆が顔見知りで、最近の出来事を報告し合うことが多いですね。私は直近の旅の話をしたり、友人は私にレシピを尋ねたり。サン・セバスティアンでは、食事がとても重要なんです。(Elena 🇪🇸)

女性の地位や、先住民族の社会的立場、オーストラリアの歴史的通説や政治には時に裏付けが足りないこと、難民の権利など。私たちは恵まれた環境にいるから、時に真実が見えなくなってしまう。そういう現実を見極めつつ、オーストラリアの“楽観的で素直”なステレオタイプにふさわしい人でありたいですね。(Sophie 🇺🇸)

最新のファッショントレンドと、政治。(Winnifred 🇧🇪)

今、情熱を注いでいるファッション・テックのプロジェクトについて。成功について皆で話し合い、より素晴らしいものを生み出すにはどうすべきかを考えます。(Daria 🇺🇦)

政治。だから私は減多に話さないの。(Claire 🇫🇷)

例えば、10日間のお休みがあったら、あなたは何をしますか？

冬だったら、今住んでいる島にはない美術館や劇を子どもに見せるために大都市に行くわ。夏だったら、ギリシャの島々をセーリング。これだけは譲れないの。(Christina 🇬🇷)

旅行！ヨガと執筆に没頭できるところに行くのが好き。インドのダラムシャーラーやタイのサムイ島はお気に入りの場所です。(Shazia 🇮🇳)

自然の中に溶け込む。(Chen 🇨🇳)

平日、仕事後のお気に入りの過ごし方は？

子どもと音楽を聴いたり、歌ったり、踊ったりしてリラックスします。ホットオイルマッサージやペディキュアに行くのも好きだし、ロンドンに住む妹や姪とSkypeをしたり、友人とプールで遊ぶのも好き。(Shazia 🇮🇳)

平日は友人や家族と食事や軽く飲んだり、ヨガをします。週末は海辺をドライブ。2時間ほどでヤンヤンの海に着くので、サーフィンをしたり自分のビーチハウスで過ごします。(Yoni 🇮🇸)

読書が大好き。書店に行ったり、オーディオブックを聴いたり、オンラインメディアをチェックすることに情熱を注いでいます。博物館も大好きですね。エネルギーを充電したいときは、自然の中で過ごします。(Daria 🇺🇦)

一日の終わりにキッチンテーブルに座り、ローカル紙「El Diario Vasco」を読むこと。(Elena 🇪🇸)

外食と自炊の割合はどれくらいですか？また、自分の得意料理は？

ほぼ毎日家で食べています。夫の手料理が美味しいので、私自身はあまり料理をしません。(Christina 🇬🇷)

夕食を作ることは好きなのですが、好きなように料理できる時間がないことのほうが多いです。きちんと料理をするには、リラックスして時間をかけることが必要、というのが私の持論です。だから夕食はよくオンラインで注文します。レストランよりも、自宅で夕食をとるほうが落ち着きます。(Cristina 🇮🇹)

8割が自炊、2割が外食。セラピア入りのジョロフライスとホームメイドサラダが得意です。(Winnifred 🇧🇪)

何時に起きて、何時に寝ますか？

私は睡眠時間がたっぷり必要な人間なのだけれど、そんなに早く寝るほうではないですね。でも、なるべく深夜0時には眠るようにしているわ。朝はだいたい8時前後に起床。起きたらベッドの中でメールを読んで、時には二度寝しちゃうことも。(Marie 🇺🇸)

それほど寝なくても平気な体質なので、午前2時に寝て、午前8時に起きます。(Elena 🇪🇸)

一日平均何時間くらい仕事をしますか？

労働時間は多いほうだと思う。というのも、“いつも”働いているから。でも、働いているとは全然感じていないの。マルチタスクもこなせるし、常に今の仕事や次のプロジェクトのことが頭にあるけど、どれも楽しんでるわ。例えば、読書も勉強も、展覧会やアーティストのスタジオへ訪問することもすべてが仕事で、私にとっては喜びだし素晴らしい特典のようなもの。自分は本当にラッキーだと思わ。(Marie 🇺🇸)

9時～18時です。ワーキングタイムに集中して仕事をし、夜は仕事から離れるようにしています。そのほうがストレスを軽減し、そしてエネルギーを保つことができるので。(Yoni 🇮🇸)

かつては15時間を仕事とソーシャルメディアに費やしていましたが、息子ができてからは、彼の夕食に間に合うように9～11時間(休憩なし)に減らしました。(Dalia 🇲🇩)

私はアクティビストで、現在は国連の国際移住機関(IOM)の活動をしており、いわゆる“オフィスワーク”は一日5時間です。そして4時間ほど“ママの仕事”をして、毎晩1時間ほどヨガを教えています。(Shazia 🇮🇳)

生活の中で一番プライオリティを置いているものは？

自分で選んだ人生において情熱的で、生き生きとした気持ちでいられることです。それは仕事やパートナーを大事にすることでもあります。(Marie 🇺🇸)

家庭と仕事の両立。(Cristina 🇮🇹)

今は仕事ですが、メキシコでは家族関係がとても親密なので、家族のことは常に頭にあります。(Frida 🇲🇽)

家族が第一ですが、バランスが大事なので、仕事や一人の時間、社交も楽しみます。何か一つのことだけに身を捧げるのは、自分も不幸になりますし、母親やプロ、友達や妻としても、良い状態ではられません。幸せと成功の鍵はバランスです。(Dalia 🇲🇩)

賛美と礼拝をしているときです。(Winnifred 🇧🇪)

何をしているときに一番幸せを感じますか？

彼と一緒に庭で朝食をとった後、彼のバイクでマンハッタンブリッジを渡って一緒に出勤するときがとても幸せ。自分がNYという忙しい街に住んで仕事をするを選んだ理由を思い出させてくれる瞬間です。(Marie 🇺🇸)

新しい料理を創ること。生まれ変わるような気持ちになります。(Elena 🇪🇸)

シンプルなことに幸せを感じる人が多いですね。家族や友達と過ごす日常の些細な瞬間や、何か本質的なことについて考えているとき。それがインスピレーションや充実感の源です。(Claire 🇫🇷)

生きていること自体が幸せ。(Chen 🇨🇳)

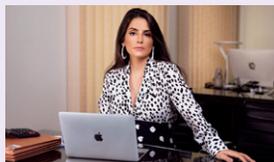
恋に落ちたとき。(Frida 🇲🇽)



Chen Man
 チェン・マン／中国
 中国写真界のスーパーアイドル。革新的なスタイルで世界を股にかけ活躍。



Claire Damon
 クレール・ダモン／フランス
 2006年、パリの人気パティスリー「Des Gâteaux et du Pain」をオープン。



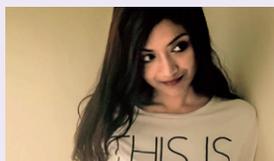
Dalia Nsouli
 ダリア・ヌスリ／カタール
 カタール在住レバノン人。銀行家ながら、ファッションセンスもSNSで注目の的。



Ece Sukan
 エース・スカン／トルコ
 トルコを代表するクリエイティブ・ディレクター。ファッションコンサルタントも担当。



Frida Escobedo
 フリーダ・エスコベド／メキシコ
 メキシコ人建築家。史上最年少で2018年のサーペンタイン・パビリオンを設計。



Shazia Omar
 シャジア・オマル／バングラデシュ
 バングラデシュの小説家。社会心理学者、ヨガインストラクターとしても活動。



Winnifred Selby
 ウィニフレッド・セルビー／ガーナ
 起業家。2014年「カルティエ ウーマンズ・イニシアチブ アワード」に選出。



Christina Martini
 クリスティーナ・マティーニ／ギリシャ
 ハンドメイドのサンダルブランド「エンシェント・グリーン・サンダズ」デザイナー。



Cristina Celestino
 クリスティーナ・チェレスティノ／イタリア
 建築家、デザイナー、コレクター。自身のブランド「ATTICO」を手がける。



Daria Shapovalova
 ダリア・シャポヴァロヴァ／ウクライナ
 「キエフ・ファッション・デイズ」発起人。ウクライナのモード界の中心人物。



Elena Arzak
 エレナ・アルザック／スペイン
 スペインの三つ星レストランを家族経営。世界最優秀女性シェフにも選ばれた。



Marie Salomé
 マリー・サロメ／アメリカ
 ブルックリン在住のフランス人フリーランスキュレーター兼ライター。



Sophie Mathisen
 ソフィー・マティセン／オーストラリア
 オーストラリア人映画監督。女性のための映画祭のディレクターも務める。



Yoni P
 ヨニ・ピー／韓国
 夫と自身の名を冠したファッションブランド「STEVE J & YONI P」デザイナー。

ここに登場するのは、アジア、中東、ヨーロッパなど、世界14カ国の職種の違い女性たち。育った環境が違えば、当然考え方は千差万別のはず。どんな言葉があなたを救うの？ 仕事とプライベートのバランスはどうしてる？ あなたの国で一番問題になっているトピックスは？ そんな基本的な疑問を投げかけてみました。賛同すること、新鮮な発見、感化される言葉——回答から、あなたは何を想うでしょう？

あなたの国では女性が活躍していますか？ 女性としての幸せとは何でしょう？

“成功”という言葉はあまり好きではありません。私生活の充実と仕事での業績のバランスを取ることが大事なのではないでしょうか。(Claire )

アラブ諸国では家族が非常に重要で、今も社会の中核です。女性は働かず家事をするのが伝統でしたが、この20～30年で大きく変化し、女性たちは自立の重要性を認識し、キャリアや目標を持ち始めています。アラブ諸国では仕事も個人も同様に大切なので、その両立が成功の鍵ですね。(Dalia )

家庭と仕事のバランス、ビジネスの成功、社会的支援活動。男女ともに慈善活動とソーシャルワークが重要だと考えており、私自身、多くのチャリティ活動を牽引しています。(Daria )

バスク地方は母権社会なので、女性でいることは私にとって自然なことです。私は「Arzak」の4代目の経営者で、祖母もシェフでした。すべての女性がこのような環境であればいいのと思います。前の世代の年配者をリスペクトすることも重要です。(Elena )

あなたを救う魔法の言葉を教えてください。

Can you help me?
 「手を貸していただけますか？」
 (Winnifred )

Pugilist.
 「ボクサー」。自分が思う以上にノックダウンさせられることもあるかもしれないけれど、再び立ち上がるからこそが真の勝利だと思います。(Sophie )

A smile most of the times and say "sorry" if I need to.
 「たいていは笑って過ごして、必要なときにはきちんと謝ろう」。(Christina )

今のあなたの国で、一番の問題は何ですか？ また、それに対して望むことは？

イタリアの大きな問題の一つは、起業家のイニシアチブを助け、強化するための仕組みが欠けていることです。イタリアには、自国の風土や起業精神に対して、正しい価値を見出してほしいです。また、さまざまな専門分野にまたがる創造性の価値が理解されることも願っています。(Cristina )

バングラデシュは家父長制の伝統があるため、女性の権利擁護や児童結婚の撲滅、人身売買の防止、女性への経済的な権限の付与などの問題がありますが、未来は良い方向へ向かっています。女性はリーダーシップを獲得していますし、コミュニティが結束し、児童結婚や人身売買と闘っています。政府はパワフルで革新的な女性たちに導かれており、民間企業、市民社会団体、大学でも権限を持つ女性が増えています。(Shazia )

トルコは今夏に選挙があるため、緊張状態が高まっています。今の政府は過去15年間統治してきたけれど、国民は変化を求めています。(Ece )

ギリシャはシリア内戦のため、長期間に渡り大きな経済や難民の危機に直面しています。自国だけに限らず、戦争が終結し、人々が尊厳を持って生きられることを願います。(Christina )

レバノンでは汚職が多く、公的資金がほとんど国のインフラや公共部門に再投入されていません。貧富の差が激しく、政治家だけが裕福になっています。識字率は94%を超え、平均寿命も80年と長く、人々は非常に意欲的ですが、困難な経済状況によりチャンスが欠如しているため、若くて有能な人材が国を離れてしまっています。レバノンはアラブで最初の民主主義国家ですが、選出されるのは同じ政治家ばかり。若く自立した人々たちによって、私欲ではなく国を最優先する政治が行われることを願っています。(Dalia )



🇫🇷 Marie Salomé

マリー・サロメ / アメリカ

ブルックリン在住のフランス人フリーランスキュレーター兼ライター。

Marie Salomé

Marie Salomé / America

Brooklyn-based French Curator & Writer

生活の中で 一番プライオリティを 置いているものは？

自分で選んだ人生において情熱的で、生き生きとした気持ちでいられることです。それは仕事やパートナーを大事にすることでもあります。(Marie 🇫🇷)

What's your top priority in life?

My priority is to feel alive and passionate about the life I chose for myself. That also means taking care of both my work, and my partner.

一日平均何時間くらい 仕事をしますか？

労働時間は多いほうだと思う。というのも、“いつも”働いているから。でも、働いているとは全然感じていないの。マルチタスクもこなせるし、常に今の仕事や次のプロジェクトのことが頭にあるけど、どれも楽しんでいるわ。例えば、読書も勉強も、展覧会やアーティストのスタジオへ訪問することもすべてが仕事で、私にとっては喜びだし素晴らしい特典のようなもの。自分は本当にラッキーだと思うわ。(Marie 🇫🇷)

On average, how many hours do you work in a day?

I think my working hours are definitely on the higher side, because in a way, I'm working "all the time". But, it doesn't feel like it. I multi-task a lot, and I'm always thinking about my work or my next project. And I enjoy them all. For example, reading and learning, seeing exhibitions and doing studio visits are all part of my work, but it feels like a pleasure and a great privilege. I feel super lucky.

何時に起きて、 何時に寝ますか？

私は睡眠時間がたっぷり必要な人間なのだけれど、そんなに早く寝るほうではないですね。でも、なるべく深夜0時には眠るようにしているわ。朝はだいたい8時前後に起床。起きたらベッドの中でメールを読んで、時には二度寝しちゃうことも。(Marie 🇫🇷)

What time do you wake up, and what time to you go to sleep?

I'm a big sleeper, but that said, it's not that I go to sleep super early. I try to go to sleep around midnight. In the mornings, I'm usually up by 8. I'll read my emails in bed, and every so often will take another little snooze.

VOGUE JAPAN

21 Countries, 35 People. A First Look at the Women's Lifestyles Across the Globe

If there are differences in the environment you were raised in, then it's no wonder that there might be differences in your thinking and lifestyle habits.

Here, we profile 35 real women.

They're distinctive, independent individuals from India, Brazil, Singapore, the UK, and from every corner of the world, for a grand total of 21 countries. What is it that interests these women, and what kind of lifestyle does each one lead?

From their outlooks on everything from work, to family, there are some things that will surprise you, and some that you'll relate to. And perhaps, both.

Part 1

How do you spend your day? A look inside the 24 hour schedules of real career women.

Part 2

In looking at the thought processes behind various lifestyle choices, each country's distinct cultures are revealed.

Part 3

From what they talk about, to their after-5 o'clock life – we asked all these questions and more, to 15 in-demand ladies from abroad!

Our Common World

The questions on "Work", "Society", "Lifestyle", etc. that we asked women from 15 countries.
[Take the Survey - Overseas version]

Marie Salomé

Marie Salomé / America

Brooklyn-based French Curator & Writer

What's your top priority in life?

My priority is to feel alive and passionate about the life I chose for myself. That also means taking care of both my work, and my partner.

On average, how many hours do you work in a day?

I think my working hours are definitely on the higher side, because in a way, I'm working "all the time". But, it doesn't feel like it. I multi-task a lot, and I'm always thinking about my work or my next project. And I enjoy them all. For example, reading and learning, seeing exhibitions and doing studio visits are all part of my work, but it feels like a pleasure and a great privilege. I feel super lucky.

What time do you wake up, and what time do you go to sleep?

I'm a big sleeper, but that said, it's not that I go to sleep super early. I try to go to sleep around midnight. In the mornings, I'm usually up by 8. I'll read my emails in bed, and every so often will take another little snooze.